職業実践専門課程等の基本情報について

学校名		設置認可年	-月日	校:	長名		005 0045				
専門学校北海道サータース・大学科		昭和61年12	月2日	橋本	直樹	(住所)	065-0015 札幌市東区北15条	東6丁目3番1号			
設置者名		設立認可年	月日	代表	者名	(電話)	011-711-6311	所在地			
学校法人吉田	学園	昭和53年10	月31日	吉田	祐樹	〒 (住所)	060-0063 北海道札幌市中央	区南3条西1丁目15都	番地		
分野	1 =	忍定課程名		認定学科	名	(電話)	011-272-6070 門士認定年度	高度専門士認	定年度	職業宝器	専門課程認定年度
工業		分野 専門課程	作	青報システム			成19(2007)年度	III	<u> </u>		26(2014)年度
学科の目的		高等学校教育の基 を目的とする。	礎の上に職業	業人として必要	要な知識及び	「技術を授し	ナ、IT業種・業界に適応	しうる資質の向上を目	標とし、有為	為な人材の育	成を図るため、教育
学科の特徴(取得 可能な資格、中退 率 等)	【取得可能基本情報技	な資格】 支術者試験、応用情	報技術者試験	験、Oracle Ja	ava Bronze						
修業年限	昼夜	全課程の修了に必	要な総授業 単位数	時数又は総	講	義	演習	実習			実技
2	昼間	※単位時間、単位いずれ かに記入	· -	D 単位時間 - 単位		i 単位時間	735 単位時間 - 単位	0 単位時間- 単位	+) 単位時間 - 単位	0 単位時間
生徒総定員		€員(A) 留学:	生数(生徒実員		留学生割		中退率	— 平 应		- 平位	- 辛匹
40 人	39	Д	12	2 人	0) %	0 %				
	■卒業者	数 (C)	:	21		人	<u> </u>	1			
	■就職希	望者数(D) 数(E)	:	20 20		ᄉ	_				
	■地元就	職者数(F)		13		人	_ _				
	■就職率	(E/D) に占める地元就職者	その割合 / Γ /	1		%	_				
				1		%	_				
	■卒業者	こ占める就職者の割	I合 (E/C)	1		%					
就職等の状況	■進学者 ■その他			0		人	_				
	進学希望	のため、斡旋不要									
	(令和 ■主な就!	6 年度卒業 職先、業界等	者に関する令	合和7年5月1	1日時点の情報	报)					
								マイ・ビー・エル ごく	\$カル.++	ごス株式会社	、富士ソフト株式
	(令和6年度		北海道総合	技術研究所	、株式会社E	日本システ	・ムクリエイター、日本				
	株式会社 会社、株式 ■民間の	シーズ、株式会社だ 式会社エイチ・エル・ 評価機関等から第	·シー、株式 三者評価:				・ムクリエイター、日本 ニアリング社、マンパ 無				トウェア、株式会
第三者による	株式会社 会社、株式 ■民間の	シーズ、株式会社: 大会社エイチ・エル・	·シー、株式 三者評価:				ニアリング社、マンパ 無	ワーグループ株式会			トウェア、株式会
第三者による 学校評価	株式会社 会社、株式 ■民間の ※有の場合	シーズ、株式会社だ 式会社エイチ・エル・ 評価機関等から第	·シー、株式 三者評価:			゚ロ・エンジ	ニアリング社、マンパ 無 。				トウェア、株式会
学校評価 <u>当該学科の</u> ホームページ	株式会社、株式会社、株式会社、株式 ■民間の ※有の場合	シーズ、株式会社: 式会社エイチ・エル: 評価機関等から第 、例えば以下について	·シー、株式 三者評価:		プロ テクノブ	゚ロ・エンジ	ニアリング社、マンパ 無 。	ワーグループ株式会			トウェア、株式会
学校評価当該学科の	株式会社 会社、株式 ■民間の ※有の場合	シーズ、株式会社: 式会社エイチ・エル: 評価機関等から第 、例えば以下について 評価団体: - pshida-hcc.jp/	·シー、株式 三者評価:		プロ テクノブ	゚ロ・エンジ	ニアリング社、マンパ 無 。	ワーグループ株式会			トウェア、株式会
学校評価 <u>当該学科の</u> ホームページ	株式会社 会社、株式 ■民間の ※有の場合	シーズ、株式会社: 式会社エイチ・エル: 評価機関等から第、例えば以下について 評価団体: -	·シー、株式 三者評価:		プロ テクノブ	゚ロ・エンジ	ニアリング社、マンパ 無 。	ワーグループ株式会	-		トウェア、株式会
学校評価 <u>当該学科の</u> ホームページ	株式会社 会社、株式 ■民間の ※有の場合	シーズ、株式会社、 式会社エイチ・エル・ 評価機関等から第 、例えば以下について 評価団体: - pshida-hcc.jp/ は時間による算定) 総授業時数	・シー、株式三者評価:任意記載		プロ テクノブ 受審年月:	<u>-</u>	ニアリング社、マンパ 無 。	ワーグループ株式会	- 1,830	会社都築ソフ	トウェア、株式会
学校評価 <u>当該学科の</u> ホームページ	株式会社 会社、株式 ■民間の ※有の場合	シーズ、株式会社、 式会社エイチ・エル・ 評価機関等から第 、例えば以下について 評価団体: - から前は一hcc.jp/ は時間による算定) 総授業時数 うち企業	・シー、株式 三者評価: 任意記載	会社テクノフ	プロ テクノブ 受審年月: ・実技の授業	<u>-</u>	ニアリング社、マンパ 無 。	ワーグループ株式会	会社、株式会 - 1,830 (②単位時間	トウェア、株式会
学校評価 <u>当該学科の</u> ホームページ	株式会社 会社、株式 ■民間の ※有の場合	シーズ、株式会社:	・シー、株式 三者評価: 任意記載	会社テクノフ	プロ テクノブ 受審年月: ・実技の授業	<u>-</u>	ニアリング社、マンパ 無 。	ワーグループ株式会	- 1,830 (1,830 (1,830)	会社都築ソフ単位時間単位時間	トウェア、株式会
学校評価 <u>当該学科の</u> ホームページ	株式会社 会社、株式 ■民間の ※有の場合	シーズ、株式会社:	・シー、株式 三者評価: 任意記載 と連携し: を後撃と連携し:	会社テクノフ た実験・実習 た演習の授業	プロ テクノブ 受審年月: ・実技の授業 時数	実時数	エアリング社、マンパ無	ワーグループ株式会	- 1,830 C 180 1,365	会社都築ソフ の単位時間 の単位時間 の単位時間	トウェア、株式会
学校評価 <u>当該学科の</u> ホームページ	株式会社 会社、株式 ■民間の ※有の場合	シーズ、株式会社:	・シー、株式 三者評価: 任意記載 等と連携し ※等と連携し が授業時数 うち企業	会社テクノフ	プロ テクノブ 受審年月: ・実技の授業 時数 必修の実験・	と と と と と と と と と と と と と と と と と と と	エアリング社、マンパ無	ワーグループ株式会	会社、株式会 - 1,83C (1,365 (1,	会社都築ソフ の単位時間 の単位時間 の単位時間 の単位時間 の単位時間 の単位時間	トウェア、株式会
学校評価 当該学科の ホームページ URL	株式会社 会社、株式 無足間 S M H H H H H H C A : 単位	シーズ、株式会社ン 大会社エイチ・エル 評価機関いていいて 評価団体: - pshida-hcc.jp/ にはる算定) 総授業時数 うち企業 うち必修	・シー、株式 三者評価: 任意記載 等と連携し 接業時数 うち企業 うち企業	会社テクノフ た実験・実習 た演習の授業 等と連携した	プロ テクノブ 受審年月: ・実技の授業 時数 必修の実験・ 必修の演習の	プロ・エンジ 一 実際・実 対授業時数	エアリング社、マンパ無	ワーグループ株式会	会社、株式会 - 1,83C C 18C 1,365 C 18C	会社都築ソフり単位時間り単位時間り単位時間5単位時間り単位時間	トウェア、株式会
学校評価 当該学科のホームページ URL 企業等と連携先した 実等の実施状況	株式会社、株式会社、株式会社、株式会社、株式会社、株式会社、株式会社、株式会社、	シーズ、株式会社:	・シー、株式 三者評価: 任意記載 等と連携し 接業時数 うち企業 うち企業	会社テクノフ た実験・実習 た演習の授業 等と連携した 等と連携した	プロ テクノブ 受審年月: ・実技の授業 時数 必修の実験・ 必修の演習の	プロ・エンジ 一 実際・実 対授業時数	エアリング社、マンパ無	ワーグループ株式会	会社、株式会 - 1,83C C 18C 1,365 C 18C	会社都築ソフ の単位時間 の単位時間 の単位時間 の単位時間 の単位時間 の単位時間 の単位時間 の単位時間 の単位時間 の単位時間 の単位時間	トウェア、株式会
学校評価 当該学科のホームページ URL	株式会社、株式会社、株式会社、株式会社、株式会社、株式会社、株式会社、株式会社、	シーズ、株式会社: 大会社: 大会社: 大会社: 大会社: 大会社: 大会社: 大会社: 大	・シー、株式 三者評価: 任意記載 等と連携し 接業時数 うち企業 うち企業	会社テクノフ た実験・実習 た演習の授業 等と連携した 等と連携した	プロ テクノブ 受審年月: ・実技の授業 時数 必修の実験・ 必修の演習の	プロ・エンジ 一 実際・実 対授業時数	エアリング社、マンパ無	ワーグループ株式会	- 1,83C - 1,83C (1,365 (1	会社都築ソフ ②単位時間 ②単位時間 ②単位時間 ②単位時間 ②単位時間 ②単位時間 ②単位時間 ②単位時間 ②単位時間	トウェア、株式会
学校評価 当該学科のホームページ URL 企業等をと連携した沢沢	株式会社、株式会社、株式会社、株式会社、株式会社、株式会社、株式会社、株式会社、	 シーズ、株式会社: シーズ、株式会社: 大会社: 大会社: (例えば以下について	・シー、株式 三者評価: 任意記載 等と連携し 接案 時数 うち企業 等と連携	会社テクノフ た実験・実習 た演習の授業 等と連携した したインター	プロ テクノブ 受審年月: ・実技の授業 時数 必修の実験・ 必修の演習の ンシップの授	プロ・エンジー 一 実習・実打 り授業時数) 受業時数)	エアリング社、マンパ無	ワーグループ株式会	会社、株式会 - 1,830 (180 1,365 (180 (180	 会社都築ソフ 3 単位時間 0 単位時間 0 単位時間 5 単位時間 0 単位時間 0 単位時間 0 単位時間 0 単位時間 	トウェア、株式会
学校評価 当該学科のホームページ URL 企業等をと連携した沢沢	株式会社、株式会社、株式会社、株式会社、株式会社、株式会社、株式会社、株式会社、	 シーズ、株式会社ンス・大大・エル・ス・ス・ス・ス・ス・ス・ス・ス・ス・ス・ス・ス・ス・ス・ス・ス・ス・ス・	・シー、株式 三者評価: 任意記載 等等と連携し 接案時数 うち企業 ま等と連携し	会社テクノフ た実験・実習 た演習の授業 等と連携した したインター た実験・実習	プロ テクノブ 受審年月: ・実技の授業 ・実技の授業 必修の実験・ 必修の演習の ンシップの授	プロ・エンジー 一 実習・実打 り授業時数) 受業時数)	エアリング社、マンパ無	ワーグループ株式会	- 1,83C C 18C 1,365 C 18C	 会社都築ソフ 0 単位時間 1 単位 1 単位 1 単位 	トウェア、株式会
学校評価 当該学科のホームページ URL 企業等と連携した沢沢	株式会社、株式会社、株式会社、株式会社、株式会社、株式会社、株式会社、株式会社、	 シーズ、株式会社: 大会社: 大会社: 大会社: 大会社: 大会社: 大会社: 大会学: 大会学:	・シー、株式 三者評価: 日意記載 ※等と連携し ラち企業 うち企業 等と連携し ま等と連携し ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	会社テクノフ た実験・実習 た演習の授業 等と連携した したインター	プロ テクノブ 受審年月: ・実技の授業 ・実技の授業 必修の実験・ 必修の演習の ンシップの授	プロ・エンジー 一 実習・実打 り授業時数) 受業時数)	エアリング社、マンパ無	ワーグループ株式会	- 1,83C C 1,86E C 18C C 18C C	 会社都築ソフ 0 単位時間 1 単位 	トウェア、株式会
学校評価 当該学科のホームページ URL 企業等と連携した沢沢	株式会社、株式会社、株式会社、株式会社、株式会社、株式会社、株式会社、株式会社、	 シーズ、株式会社ンス・大大・エル・ス・ス・ス・ス・ス・ス・ス・ス・ス・ス・ス・ス・ス・ス・ス・ス・ス・ス・	・シー、株式 三者評価: 日意記載 ※等と連携し を	会社テクノフ た実験・実習 た演習の授業 等と連携した したインター た実験・実習	プロ テクノブ 受審年月: ・実技の授業 ・実技の授業 ・変修の実験・ 必修の実験・ ・変接の単位 数	プロ・エンジー 一 上時数 実習・実打 受業時数) 受業時数)	ニアリング社、マンパ 無	ワーグループ株式会	- 1,83C C 18C 1,365 C 18C C	会社都築ソフ	トウェア、株式会
学校評価 当該学科のホームページ URL 企業等をと連携した沢沢	株式会社、株式会社、株式会社、株式会社、株式会社、株式会社、株式会社、株式会社、	 シーズ、株式会社: 大会社: 大会社: 大会社: 大会社: 大会社: 大会社: 大会学: 大会学:	・シー、株式 三者評価: 任意記載 等等と連携し うち企業 等等と連携し うち企業 等と連携し うち企業 等と連携し うち企業 等と連携し うち企業 等と連携し	会社テクノフ た実験・実習 た演習の授業 等と連携した したインター た実験・実習 た演習の単位	プロ テクノブ 受審年月: ・実技の授業 時数 必修の実験・ 必修の演習の ンシップの授 ・実技の単位 数	プロ・エンジー 一 実習・実主 が授業時数) が数	ニアリング社、マンパ 無	ワーグループ株式会	- 1,83C C 1,86E C 18C C 18C C	 会社都築ソフ 0 単位時間 1 単位 	トウェア、株式会
学校評価 当該学科のホームページ URL 企業等をと連携した沢沢	株式会社、株式会社、株式会社、株式会社、株式会社、株式会社、株式会社、株式会社、	 シーズ、株式会社・ 大会社・	・シー、株式 三者評価: 任意記載 等等と連携し うち企業 等と連携し うち企業 等と連携し うち企業 等と連携し うち企業 等と連携し うち企業	会社テクノフ た実験・実習 た演習の授業 等と連携した したインター た実験・実習 た演習の単位 等と連携した	プロ テクノブ 受審年月: ・実技の授業 ・実技の授業 ・変修の実験・ 必修の実験・ ・実技の単位 数 ・変技の単位 数 ・変技の実験・ 必修の実験・ 必修の実験・	プロ・エンジー ・実計数 ・実習・実計数 ・受業時数) ・支援・対数	ニアリング社、マンパ 無	ワーグループ株式会	- 1,83C C 1,86E C 18C C 18C C	会社都築ソフ	トウェア、株式会
学校評価 当該学科のホームページ URL 企業等をと連携した沢沢	株式会社、株式会社、株式会社、株式会社、株式会社、株式会社、株式会社、株式会社、	 シーズ、株式会社・ 大会社・	・シー、株式 三者評価: 任意記載 等等と連携し うち企業 等と連携し うち企業 等と連携し うち企業 等と連携し うち企業 等と連携し うち企業	会社テクノフ た実験・実習 た演習の授業 等と連携した したインター た実験・実習 た演習の単位 等と連携した	プロ テクノブ 受審年月: ・実技の授業 ・実技の授業 ・変修の実験・ 必修の実験・ ・実技の単位 数 ・変技の単位 数 ・変技の実験・ 必修の実験・ 必修の実験・	プロ・エンジー ・実計数 ・実習・実計数 ・受業時数) ・支援・対数	ニアリング社、マンパ 無	ワーグループ株式会	- 1,83C C 1,86E C 18C C 18C C	会社都築ソフ	トウェア、株式会
学校評価 当該学科のホームページ URL 企業等をと連携した沢沢	株式会社、株式会社、株式会社、株式会社、株式会社、株式会社、株式会社、株式会社、	シー会社 会社 シー会社 スーイテ・エル・第 東州名(域)下について 評価(機関・ドロー) 正時間(による算定) 総授業時数 うち企業 うち企業 (うち企業 うち企業 お単位数 うち企業 (うち企業 うち企業 (うち企業 でのの管業 (うち企業 でのの管業 (うち企業 でのの管業	・シー 株価: 三者記載 「本語」 「本語」 「本語」 「本語」 「本語」 「本語」 「本語」 「本語」	会社テクノフ た実験・の受験・をと連携したと連携したと実験の受験をと連携したとがある。 をときなり、実置位をである。このである。このである。このである。このである。このでは、このでは、このでは、このでは、このでは、このでは、このでは、このでは、	プロ テクノブ 受審年月: ・実技の授業 ・実技の授業 ・必修の実験・の ンシップの授 ・実技の単位 ・実技の単位 が、でいた。 ・実技の単位	『ロ・エンジ - 集時数 実習・実 授業時数) 受業等数 の 単位数)	ニアリング社、マンパ 無	ワーグループ株式会 平価結果を掲載した トームページURL	- 1,83C C 1,86E C 1,36E C 18C C	会社都築ソフ	トウェア、株式会
学校評価 当該学科のホームページ URL 企業等をと連携した沢沢	株式会社、株式会社、株式会社、株式会社、株式会社、株式会社、株式会社、株式会社、	 シーズ、株式会社・ シーズ、株式会社・ ボーズ・エイチ・エル・ 評価機関トーク pshida-hcc.jp/ 時間による算定) 総授業時数 うち企業 できる数と できるがある できるがある	・シー 名記 ・シー	会社テクノフ た実験・の受験・をと連携したと連携したと実験の受験をと連携したとがある。 をときなり、実置位をである。このである。このである。このである。このである。このでは、このでは、このでは、このでは、このでは、このでは、このでは、このでは、	プロ テクノブ 受審年月: ・実技の授業 ・実技の授業 ・必修の実験・の ンシップの授 ・実技の単位 ・実技の単位 が、でいた。 ・実技の単位	プロ・エンジー 実時数 実践 実践 実践 要要 できまり できまり できまり できまり できまり できまり できまり できまり	ニアリング社、マンパ 無 大の授業時数 大の授業時数	ワーグループ株式全 平価結果を掲載した ホームページURL	- 1,830 C 180 1,365 C 180 C 180 C 2	会社都築ソフ ①単位時間間 ①単位位時時間間 ②単位位位時時間間 ②単位位位は時時間間 ○単位位位は位位は中時間 ○単位位 一単位 一単位 一単位 - 単位 - 単位 - 単位 - 単位	トウェア、株式会
学校評価 当該学科のホームページ URL 企業等をと連携した 実習等の思い人 に記入)	株式社、株式 会社、株式 上間場 https://yx (A:単位	シーズ 大 大 子 エ () ・ 大 式 会社 () シーズ 大 エ イ チ エ () ・ 大 工 イ チ エ () エ イ チ エ () ・ 大 工 イ チ エ ()	・シー 株式 三者記載 経等とと連携しし ラちをと連携しし ラちをと連携しし 東等とと連携しし 京ちと連携しし 東等とと連携しし 京ちとと連携しし 京ちとを連携しし 京ちと連携しし 京ちと連携しし 京ちと連携しし 京ちとをとととと 東等とと連携しし 京ちとをできる。 東等とと連携しし 京ちとをできる。 東等とととをできる。 東等ととととをできる。 東等とととをできる。 東等とととをできる。 東等ととをできる。 東等ととをできる。 東等とととをできる。 東等ととをできる。 東等とととをできる。 東京ととをできる。 東京ととをできる。 東京ととをできる。 東京ととをできる。 東京とととをできる。 東京ととをできる。 東京ととをできる。 東京ととをできる。 東京ととをできる。 東京とをできる。 東京ととをできる。 東京ととをできる。 東京とをできる。 東るをできる。 東るをできる。 東るをできる。 東るをできる。 東るをできる。 東るををををををををををををををををををを	会社テクノフ た実験・の受験・をと連携したと連携したと実験の受験をと連携したとがある。 をときなり、実置位をである。このである。このである。このである。このである。このでは、このでは、このでは、このでは、このでは、このでは、このでは、このでは、	プロ テクノブ 受審年月: ・実技の授業 ・実技の授業 ・必修の実験・の ンシップの授 ・実技の単位 ・実技の単位 が、でいた。 ・実技の単位	プロ・エンジー 実際・実 ・実 ・実 ・実 ・実 ・実 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	ニアリング社、マンパ 無 技の授業時数 支の単位数 学校設置基準第41条第11 学校設置基準第41条第11	ワーグループ株式全 平価結果を掲載した ホームページURL	- 1,830 (C 180 1,365 (C 180 (C 180 (C 180 (C) (C)	会社都築ソフ ①単位は時間間 ①単位位は時間間 ②単位位は時時間間 ②単位位は時時間間 ②単位位は中時間間 ②単位位位・単位位 一単位位 一単位位 -単位 -単位 -単位 -単位 -単位 - 単人	トウェア、株式会
学校評価 当該学科のホームページ URL 企業等をと連携した 実習等の思い人 に記入)	株式社、株式 会社、株式 上間場 https://yx (A:単位	シー会社・ (するなとなる) シー会社・ (カー・ シー会社・ (カー・ ・ (カー・ (カー・ <td< td=""><td>・シー 株式 日本 日本</td><td>会社テクノフスを実験・のでは、大変では、大変では、大変では、大変では、大変では、大変では、大変では、大変</td><td>プロ テクノブ 受審年月: ・実技の授業 ・実技の授業 ・必修の実験・の ンシップの授 ・実技の単位 ・実技の単位 が、でいた。 ・実技の単位 ・実技の単位</td><td>プロ・エンジー 実習・実 実習・実 教 大数 実習・実 事位数 (専修・ (専修・</td><td>ニアリング社、マンパ 無 技の授業時数 支の単位数 学校設置基準第41条第11 学校設置基準第41条第11</td><td>ワーグループ株式全 平価結果を掲載した ホームページURL (事第1号) (事第2号) (事第3号)</td><td>- 1,830 - 1,830 - 180 - 1,365 - C </td><td>会社都築ソフ ① 単位は時間 ① 単位位時間間 ② 単位位時間間 ② 単位位時間間 ○ 単位位 一 単位位 一 単位位 - 単位位 - 単位位 - 単位位 - 単位位 - 単位位 - 単位位</td><td>トウェア、株式会</td></td<>	・シー 株式 日本	会社テクノフスを実験・のでは、大変では、大変では、大変では、大変では、大変では、大変では、大変では、大変	プロ テクノブ 受審年月: ・実技の授業 ・実技の授業 ・必修の実験・の ンシップの授 ・実技の単位 ・実技の単位 が、でいた。 ・実技の単位	プロ・エンジー 実習・実 実習・実 教 大数 実習・実 事位数 (専修・ (専修・	ニアリング社、マンパ 無 技の授業時数 支の単位数 学校設置基準第41条第11 学校設置基準第41条第11	ワーグループ株式全 平価結果を掲載した ホームページURL (事第1号) (事第2号) (事第3号)	- 1,830 - 1,830 - 180 - 1,365 - C 	会社都築ソフ ① 単位は時間 ① 単位位時間間 ② 単位位時間間 ② 単位位時間間 ○ 単位位 一 単位位 一 単位位 - 単位位 - 単位位 - 単位位 - 単位位 - 単位位 - 単位位	トウェア、株式会
学校評価 当該学科のホームページ URL 企業等等と連携をと連携を表した況へに記入)	株式社、株式 会社、株式 上間場 https://yx (A:単位	シー会社・ ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	・シー 株式 日本	会社テクノフスを実験・のでは、大変では、大変では、大変では、大変では、大変では、大変では、大変では、大変	プロ テクノブ 受審年月: ・実技の授業 ・実技の授業 ・必修の実験・の ンシップの授 ・実技の単位 ・実技の単位 が、でいた。 ・実技の単位	プロ・エンジー 実習・実計 授業時数 支援・大学 を対して、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では	ニアリング社、マンパ 無 すの授業時数 大の単位数 学校設置基準第41条第11 学校設置基準第41条第11 学校設置基準第41条第11	ワーグループ株式全 平価結果を掲載した ホームページURL (事第1号) (事第2号) (事第3号) (事第4号)	- 1.83C C 18C 1.365 C 18C C	会社都築ソフ ① 単位時間 ② 単位時間 ② 単位位時間 ② 単位位時間 ③ 単位位時間 ③ 単位位時間 ○ 単位位 - 単単位 - 単単位 - 単単位 - 単単位 - 単単位 - 1 人	トウェア、株式会
学校評価 当該学科のホームページ URL と実等等の実施がれかいに記入)	株式社、株式 会社、株式 上間場 https://yx (A:単位	シー会社・ (するなとなる) シー会社・ (カー・ シー会社・ (カー・ ・ (カー・ (カー・ <td< td=""><td>・シー 株式 日本 日本</td><td>会社テクノフスを実験・のでは、大変では、大変では、大変では、大変では、大変では、大変では、大変では、大変</td><td>プロ テクノブ 受審年月: ・実技の授業 ・実技の授業 ・必修の実験・の ンシップの授 ・実技の単位 ・実技の単位 が、でいた。 ・実技の単位 ・実技の単位</td><td>プロ・エンジー 実習・実計 授業時数 支援・大学 を対して、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では</td><td>ニアリング社、マンパ 無 技の授業時数 支の単位数 学校設置基準第41条第11 学校設置基準第41条第11</td><td>ワーグループ株式全 平価結果を掲載した ホームページURL (事第1号) (事第2号) (事第3号) (事第4号)</td><td>- 1.83C C 18C 1.365 C 18C C</td><td>会社都築ソフ ① 単位は時間 ① 単位位時間間 ② 単位位時間間 ② 単位位時間間 ○ 単位位 一 単位位 一 単位位 - 単位位 - 単位位 - 単位位 - 単位位 - 単位位 - 単位位</td><td>トウェア、株式会</td></td<>	・シー 株式 日本	会社テクノフスを実験・のでは、大変では、大変では、大変では、大変では、大変では、大変では、大変では、大変	プロ テクノブ 受審年月: ・実技の授業 ・実技の授業 ・必修の実験・の ンシップの授 ・実技の単位 ・実技の単位 が、でいた。 ・実技の単位	プロ・エンジー 実習・実計 授業時数 支援・大学 を対して、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では	ニアリング社、マンパ 無 技の授業時数 支の単位数 学校設置基準第41条第11 学校設置基準第41条第11	ワーグループ株式全 平価結果を掲載した ホームページURL (事第1号) (事第2号) (事第3号) (事第4号)	- 1.83C C 18C 1.365 C 18C C	会社都築ソフ ① 単位は時間 ① 単位位時間間 ② 単位位時間間 ② 単位位時間間 ○ 単位位 一 単位位 一 単位位 - 単位位 - 単位位 - 単位位 - 単位位 - 単位位 - 単位位	トウェア、株式会
学校評価 当該学科のホームページ URL と実等をの表す。に記入) に記入)	株式社、株式 会社、株式 上間場 https://yx (A:単位	シー会社・ ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	・シー 株式 日本	会社テクノフスを実験・のでは、大変では、大変では、大変では、大変では、大変では、大変では、大変では、大変	プロ テクノブ 受審年月: ・実技の授業 ・実技の授業 ・必修の実験・の ンシップの授 ・実技の単位 ・実技の単位 が、でいた。 ・実技の単位	プロ・エンジー 実習・実計 授業時数 支援・大学 を対して、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では	ニアリング社、マンパ 無 すの授業時数 大の単位数 学校設置基準第41条第11 学校設置基準第41条第11 学校設置基準第41条第11	ワーグループ株式全 平価結果を掲載した ホームページURL (事第1号) (事第2号) (事第3号) (事第4号)	- 1,830 - 1,830 - 1,365 - 1,365 - 1,365 	会社都築ソフ ① 単位時間 ② 単位時間 ② 単位位時間 ② 単位位時間 ③ 単位位時間 ③ 単位位時間 ○ 単位位 - 単単位 - 単単位 - 単単位 - 単単位 - 単単位 - 1 人	トウェア、株式会
学校評価 当該学科のホームページ URL を実等の実の実際の表のように記入) と変別の展別では、できる。 はいている。 ないでは、これのでは	株式社、株式 会社、株式 上間場 https://yx (A:単位	シー会社・ (まなイイチ・エム・ シー会社・ (まなイイチ・エル・ エーター (まないのででは、 中間による算定) (おりまないのでは、 総授業時数 うち企業・ 方ち企業・ うち企業・ お単位数 うち企業・ お単位数 うち企業・ お単位数 うち企業・ お単位数 うち企業・ お単位数 (うち企業・ (うちないのできる限のできるでは、 (うちないのできるでは、 (うちないのできるでは、 (うちないのできる) (うちないのできるでは、 (うちないのできる) () をするのできるできまるできます。 (うちないのできる) () をおいたまないのできるできます。 () をおいたまないのできまないのできます。 () をするのできまないのできます。 () をおいたまないのできまないのできます。 () をおいたまないのできます。 () をおいたまないのできまないのできまないのできます。 () をおいたまないのできます。 () をおいたまないのできます。 () をおいたまないのできます。 () をおいたまないのできます。 () をおいたまないのできます。 () をおいたまないのできます。 () をおいたまないのできます。 () をおいたまないのできまないのできます。 () をおいたまないのできます。 () をおいたまないのできまないのできまないのできまないのできます。 () をおいたまないのできまないのできまないのできます。 () をおいたまないのできないのできまないのできまないのできまないのできまないのできまないのできないのできまないのできまないのできまないのできまないのできないのできまないのできまないのできまないのできないのできないの	・シー 株式 日本	会社テクノフスを実験・のでは、大変では、大変では、大変では、大変では、大変では、大変では、大変では、大変	プロ テクノブ 受審年月: ・実技の授業 ・実技の授業 ・必修の実験・の ンシップの授 ・実技の単位 ・実技の単位 が、でいた。 ・実技の単位	プロ・エンジー 実習・実計 授業時数 支援・大学 を対して、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では	ニアリング社、マンパ 無 すの授業時数 大の単位数 学校設置基準第41条第11 学校設置基準第41条第11 学校設置基準第41条第11	ワーグループ株式全 平価結果を掲載した ホームページURL (事第1号) (事第2号) (事第3号) (事第4号)	- 1,830 - 1,830 - 1,365 - 1,365 - 1,365 	会社都築ソフ ① 単位時間 ② 単位時間 ② 単位位時間 ③ 単位位時間 ③ 単位位時間 ③ 単位位時間 ④ 単位位 - 単位 - 単位 - 単位 - 単位 - 単 位 - 単 位 - 単 位 - 単 位 - 単 位	トウェア、株式会

- 1. 「専攻分野に関する企業、団体等(以下「企業等」という。)との連携体制を確保して、授業科目の開設その他の教育課程の編成を行っていること。」関係
- (1)教育課程の編成(授業科目の開設や授業内容・方法の改善・工夫等を含む。)における企業等との連携に関する基本 方針
- 工業分野教育課程編成委員会は工業分野における推薦学科において、実践的かつ専門的な職業教育を実施するため、企業等との連携を通じ必要な情報の把握・分析を行い、教育課程の編成(授業科目開設・授業内容・実施方法の改善・工夫等)に活かすことを基本方針とする。
- (2)教育課程編成委員会等の位置付け
- ※教育課程の編成に関する意思決定の過程を明記
- ①工業分野教育課程編成委員会は、学校教職員2名以上、工業分野に関する企業等の役職者2名以上により構成する。 当該委員会は工業分野における推薦学科等の実践的かつ専門的な職業教育の実施に向け、必要な情報の把握・分析を 行い、実践教育課程の編成に活かすため、次の事項について審議を行う。
- ・業界における人材の専門性の動向、国又は地域の産業振興の方向性に関する事項
- ・実務に必要な最新の知識・技術・技能に関する事項
- ・学則の教育課程に関する事項
- 教育課程に基づくシラバスに関する事項
- ・実習・演習等に関する事項
- ・その他、職業教育に関する事項
- ②教育課程編成委員会の提言等を踏まえ、学科会議にて付議・検討を行い、授業科目の追加や授業内容・方法の改善・ 工夫を行う。なお、学則変更を伴う教育課程の変更については、理事会の決議を経て行われる。また、シラバス・ 実習・演習に関する変更については、校長の決裁を経て行われる。
- (3)教育課程編成委員会等の全委員の名簿

令和7年5月1日現在

名 前	所 属	任期	種別
西郷 嘉明	総務省北海道総合通信局 情報通信部 情報通信連携推進課 課長	令和7年4月1日~ 令和9年3月31日(2年)	1
萱場 央輝	株式会社 北海道総合技術研究所 代表取締役社長	令和7年4月1日~ 令和9年3月31日(2年)	3
今井 茂樹	クラスメソッド株式会社 営業統括本部 アカウント営業部北海道チーム マネージャー	令和7年4月1日~ 令和9年3月31日(2年)	3
中瀬 幸子	Avintonジャパン株式会社 代表取締役	令和7年4月1日~ 令和9年3月31日(2年)	3
橋本 直樹	学校法人百田学園 専門学校北海道サイバークリエイタース・大学校 校 長	令和7年4月1日~ 令和9年3月31日(2年)	_
菅野 崇行	学校法人吉田学園 専門学校北海道サイバークリエイタース、大学校 副 学科長	令和7年4月1日~ 令和9年3月31日(2年)	_
佐々木 博幸	字校法人吉田字園 専門学校北海道サイバークリエイタース、大学校 主 任	令和7年4月1日~ 令和9年3月31日(2年)	_

- ※委員の種別の欄には、企業等委員の場合には、委員の種別のうち以下の①~③のいずれに該当するか記載すること。 (当該学校の教職員が学校側の委員として参画する場合、種別の欄は「一」を記載してください。)
 - ①業界全体の動向や地域の産業振興に関する知見を有する業界団体、職能団体、 地方公共団体等の役職員(1企業や関係施設の役職員は該当しません。)
 - ②学会や学術機関等の有識者
 - ③実務に関する知識、技術、技能について知見を有する企業や関係施設の役職員
- (4)教育課程編成委員会等の年間開催数及び開催時期

(年間の開催数及び開催時期)

年2回 (9月、3月)

(開催日時(実績))

第1回 令和6年9月18日 16:00~17:30

第2回 令和7年3月18日16:00~17:30

- (5)教育課程の編成への教育課程編成委員会等の意見の活用状況
- ※カリキュラムの改善案や今後の検討課題等を具体的に明記。
- 工業分野教育課程編成委員会での意見・要請等を十分にいかし、必要に応じて授業科目の開設や授業内容・方法の改善・工夫等を行う。なお、学則変更を伴う教育課程の変更については、理事会の決議を経て行うこととし、シラバス・実習・演習に係る変更については、校長の決裁を経て行うこととする。

2. 「企業等と連携して、実習、実技、実験又は演習(以下「実習・演習等」という。)の授業を行っていること。」関係

(1)実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針

実習承諾書・協定書・事業委託契約書等による連携を基本とし、実践的かつ即戦力となり得る人材の育成を目指すために 連携を行う。

(2)実習・演習等における企業等との連携内容

※授業内容や方法、実習・演習等の実施、及び生徒の学修成果の評価における連携内容を明記

原則週1回の授業による指導

学科担当と企業担当との定期的打ち合わせ(進捗状況の確認や問題点の修正)

(3)具体的な連携の例※科目数については代表的な5科目について記載。

科 目 名	企業連携の方法	科目概要	連携企業等
システム開発 (チーム制作)	1. 【校内】企業等から の講師が全ての授業 を主担当	システム開発における基本計画、 外部設計、内部設計、プログラム 設計、テスト仕様設定の各工程の 作業概要の習得。実際に企業の 協力を得ながらチーム開発を実践 する。	株式会社アーベルソフト

3. 「企業等と連携して、教員に対し、専攻分野における実務に関する研修を組織的に行っていること。」関係

(1)推薦学科の教員に対する研修・研究(以下「研修等」という。)の基本方針

※研修等を教員に受講させることについて諸規程に定められていることを明記

教員は、学校法人吉田学園研修規程により、次に掲げる各研修を通し、現在就いている業務又は将来就くことが予想され る業務の遂行に必要な知識・技術・技能等を修得するとともに、その他その遂行に必要な能力・資質等の向上を図ることを 基本方針とする。

- •教職員研修会
- 専門学校教育研修会
- •階層別研修
- 外部研修等(学会等を含む)

(2)研修等の実績

①専攻分野における実務に関する研修等

アマゾンウェブサービス

連携企業等: ジャパン(AWS)株式会 研修名: **AWS Builders Online Series**

対象: 情報システム・DXエン ジニア学科教員 期間: 令和6年7月18日(木)

クラウド環境であるAWSの最新技術や業界動向などを知り、今後のカリキュラムに生かすため 内容

アマゾンウェブサービス

連携企業等: ジャパン(AWS)株式会 AWSアカデミー講師向けワークショップ 研修名:

社

情報システム・DXエン 期間: 令和6年8月1日(木)~2日(金)

ジニア学科教員

授業実施上必要な内容のアップデートと新たなサービスの理解と活用の仕方を学ぶ為 内容

②指導力の修得・向上のための研修等

研修名: 「新入職員研修」 連携企業等: -

新入職員(入社半年以

期間: 令和6年4月1日(月) 対象: 内の正職員・嘱託職

員)

学園理念を始め、当学園の組織や制度についての知識を深め、当学園に早く馴染み仕事への不安の解 内容

消を図る。

「専門学校教育研修会」 連携企業等: -研修名:

対象: 正職員・嘱託職員 期間: 令和6年8月9日(金)

教育基軸の浸透を図り、日々の業務に活かすことを目的とした分科会他 内容

北海道私立専修学校

研修名: 「文部科学省認定「職業実践専門課程」に係る研修会 連携企業等: 各種学校教育能力認

定委員会

公益社団法人 北海

道私立専修学校各種 期間: 令和6年9月1日(月) 対象: 学校連合会会員校の

教職員

「北海道私立専修学校各種学校教育能力認定委員会主催で研修会を実施し、教員の授業及び学生に対 内容

する指導能力等の修得・向上を図る。」

(3)研修等の計画

①専攻分野における実務に関する研修等

北海道地域情報セ

連携企業等: キュリティ連絡会事務 研修名: サイバーセキュリティセミナー2025

情報システム・DXエン 対象: ジニア学科教員 期間: 令和7年7月23日

サイバーセキュリティの技術変化の課題に関して知見を広め、今後のカリキュラムの参考にするため 内容

研修名: DevelopersIO 2025 Sapporo 連携企業等:クラスメソッド株式会社

情報システム・DXエン

期間: 令和7年9月26日 ジニア学科教員

クラウド環境であるAWSの最新技術や業界動向などを知り、今後のカリキュラムに生かすため 内容

②指導力の修得・向上のための研修等

研修名: 「新入職員研修」 連携企業等: -

新入職員(入社半年以

対象: 内の正職員・嘱託職 期間: 令和7年4月1日(月)

員)

学園理念を始め、当学園の組織や制度についての知識を深め、当学園に早く馴染み仕事への不安の解 内容

消を図る。

北海道私立専修学校 「文部科学省認定「職業実践専門課程」に係る研修会 研修名:

連携企業等: 各種学校教育能力認

定委員会

公益社団法人 北海

対象: 道私立専修学校各種 期間: 令和7年8月1日(月)

学校連合会会員校の

教職員

「北海道私立専修学校各種学校教育能力認定委員会主催で研修会を実施し、教員の授業及び学生に対 内容

する指導能力等の修得・向上を図る。」

「専門学校教育研修会」 連携企業等: -研修名:

期間: 令和6年8月8日(金) 対象: 正職員・嘱託職員

内容 教育基軸の浸透を図り、日々の業務に活かすことを目的とした分科会他

4. 「学校教育法施行規則第189条において準用する同規則第67条に定める評価を行い、その結果を公表していること。 また、評価を行うに当たっては、当該専修学校の関係者として企業等の役員又は職員を参画させていること。」関係

(1)学校関係者評価の基本方針

学校関係者評価委員会は、学校が行った次の事項に対する自己点検・評価の結果に基づき評価を行い、学校は、当該委 員会においての意見・評価を、自己点検・評価の結果と共に真摯に受け止め、必要な改善に努めるとともに、学校運営や教 育実践力等の向上を図ることを基本方針とする。

- •教育理念•目標
- •学校運営
- •教育活動
- •学修成果
- •学生支援
- •教育環境
- ・学生の受け入れ募集
- 教育の内部質保証システム
- 財務
- •社会貢献 •地域貢献
- •国際交流

(2)「専修学校における学校評価ガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの評価項目	学校が設定する評価項目
(1)教育理念·目標	①理念・目的・育成人材像(教育理念(建学の精神)・目的・目標、育成人材 像等が明文化されているか。職業教育機関として専修学校教育に必要とされる考え方や指針、内容等が盛り込まれているか) ②教育の特色(社会や関連業界のニーズを踏まえた将来構想を描いているか)
(2)学校運営	①運営方針(運営方針は教育理念等に沿ったものになっているか) ②事業計画(事業計画を作成し、執行しているか) ③運営組織(運営組織や意思決定機関は効率的なものになっているか) ④教職員の評価・育成(教員及び職員の能力評価・能力向上に向けた取組みを行っているか) ⑤人事・給与制度(人事・給与に関する制度を確立しているか) ⑥情報システム(情報システム化等による業務の効率化が図られているか)
(3)教育活動	①目標の設定(教育理念、教育目的および育成人材像に沿った教育課程を編成・実施しているか) ②教育方法・評価等(各学科の教育目標、育成人材像に向けて、体系的なカリキュラム作成などの取組がなされているか) ③成績評価・単位認定等(成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか) ④資格・免許取得の指導体制(資格・免許取得のための指導体制があるか) ⑤キャリア教育等(基礎的・汎用的能力(①人間関係形成・社会形成能力、②自己理解・自己管理能力、③課題対応能力、④キャリアプランニング能力)を身につけるための取組が実施されているか)
(4)学修成果	①学修成果(各学科の教育目標、育成人材像に向けてその達成への取り組みと評価がされているか) ②就職率(就職率の向上が図られているか) ③資格・免許の取得率(資格・免許取得率の向上が図られているか) ④社会的評価(卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか)
(5)学生支援	①修学支援(学生に対する修学支援に関する支援組織体制を整備し、学生が学修に専念し、安定した学生生活を送ることができるように図っているか) ②就職等進路(就職・進学指導に関する支援体制は整備され、有効に機能しているか) ③学生相談(学生相談に関する体制は整備されているか) ④学生生活(学生に対する経済的な支援体制は整備されているか。学生の健康を担う組織体制はあるか。生活環境支援体制を整備しているか) ⑤中途退学への対応(退学率の低減が図られているか) ⑥保証人(保護者)との連携(保証人との連携体制を構築しているか) ⑦卒業生・社会人支援(卒業生の動向を把握しているか。社会人のニーズを踏まえた教育環境を整備しているか)
(6)教育環境	①施設・設備等(施設、設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか ②学外実習、インターンシップ等(校外の実習、インターンシップ、海外研修等について、十分な教育体制を整備しているか) ③防災・安全管理(防災・安全管理に関する体制を整備しているか。防災訓練等を実施しているか)

(7)学生の受入れ募集	①学生募集活動(学生の受け入れ方針に基づき、公正かつ適切に学生募集および入学者選抜を行っているか。社会人入学生、留学生、障がい者等、多様な学生の受入れについて方針を明確にしているか) ②入学選考(入学選考は、適正かつ公平な基準に基づき行われているか) ③学納金(学納金は妥当なものとなっているか)
(8)財務	①関係法令、設置基準等の遵守(法令、専修学校設置基準等を遵守し、適正な学校運営を行なっているか) ②個人情報保護(個人情報に関する規程を整備し、個人情報に対する対応を取っているか) ③学校評価(自己評価、学校関係者評価の実施体制を整備しているか) ④改革・改善(各学科の教育目標、育成人材像に向けて自己点検・評価活動の実施体制を確立して改革・改善のためのシステムが構築されているか) ⑤教育情報の公開(教育活動に関する情報公開を積極的に行っているか)
(9)法令等の遵守	①財務基盤(学校の中長期的な財務基盤は安定しているといえるか) ②予算・収支計画(予算及び収支計画は有効かつ妥当か。予算及び収支計画に基づき、適正に執行管理を行っているか) ③監査(財務について会計監査が適正におこなわれているか) ④財務情報の公開(私立学校法に基づく財務情報公開体制を整備し、適切に運用しているか)
(10)社会貢献・地域貢献	①社会貢献・地域貢献(学校の教育資源や施設を利用した社会貢献・地域貢献を行っているか) ②ボランティア活動(学生のボランティア活動を奨励・支援しているか)
(11)国際交流	①留学生の受入れ・海外への留学(留学生の受け入れ、海外への留学における学習支援や生活指導等を適切に対応し、管理体制を整備しているか)

※(10)及び(11)については任意記載。

(3)学校関係者評価結果の活用状況

学校関係者評価において出された意見を基に、学校は評価の低い項目について職員会議を通じ確認し、関係各署を交え、 教育内容や事務処理の不備など学校運営における問題点の洗い出しと改善に努める。

自己点検・評価シートによる点検、評価について報告し、同時に示した改善・対策について今後取り組みを図り、各分野毎の意見について学内にて検討し、改善課題として取り組むこととした。

(4)学校関係者評価委員会の全委員の名簿

名 前	所 属	任期	種別
石原 勲		令和5年4月1日~ 令和7年3月31日(2年)	地域住民
谷崎 英二		令和5年4月1日~ 令和7年3月31日(2年)	企業等委 員·卒業生
奥定 祐佳		令和5年4月1日~ 令和7年3月31日(2年)	PTA

※委員の種別の欄には、学校関係者評価委員として選出された理由となる属性を記載すること。 (例)企業等委員、PTA、卒業生等

(5)学校関係者評価結果の公表方法・公表時期

(ホームペーシ) · 広報誌等の刊行物 · その他())

URL: https://yoshida-g.ac.jp/disclosure/hcc/

公表時期: 令和7年10月31日

- 5.「企業等との連携及び協力の推進に資するため、企業等に対し、当該専修学校の教育活動その他の学校運営の状況に関する情報を提供していること。」関係
- (1)企業等の学校関係者に対する情報提供の基本方針

吉田学園の専門学校各学科において、当学科の教育活動を支援くださる方たちが、吉田学園の教育について深くご理解いただき、業界の更なる発展と地域社会の活性化に向けた連携、協力となる関係構築のため、吉田学園情報公開規程に基づいた情報の提供を行う。

(2)「専門学校における情報提供等への取組に関するガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの項目	学校が設定する項目
(1)学校の概要、目標及び計画	・学校の沿革・歴史 ・設立と教育目標、理念、教育方針 ・校長名、所在地、連絡先等
(2)各学科等の教育	・定員数、在学生数 ・カリキュラム(授業概要、授業時数等) ・進級・卒業要件等(成績評価基準、進級・卒業の認定基準等) ・学習の成果として取得を目指す資格等 ・卒業者数、卒業後の進路(主な就職先、就職者数、就職率等)
(3)教職員	·教員数
(4)キャリア教育・実践的職業教育	・就職支援等への取り組み状況 ・現場実習等の取り組み状況
(5)様々な教育活動・教育環境	・学校行事への取り組み状況 ・部活動の活動状況および実績 ・施設・設備等の教育環境
(6)学生の生活支援	・学生・生活指導への取り組み状況・カウンセリングの体制整備等に関する状況
(7)学生納付金·修学支援	・学生納付金の取扱い(学費・納入時期等)・活用できる修学支援の内容(奨学金、経済的支援等制度、貸付金の案内等)
(8)学校の財務	·事業報告書 ·貸借対照表 ·収支計算書 ·監査報告書
(9)学校評価	・自己点検・評価、学校関係者評価の結果 ・評価結果を踏まえた改善方策等
(10)国際連携の状況	
(11)その他	

※(10)及び(11)については任意記載。

(3)情報提供方法

(ホームページ)· 広報誌等の刊行物 · その他())

URL: https://yoshida-g.ac.jp/disclosure/hcc/

公表時期: 令和7年10月31日

授業科目等の概要

		工業:		専門課程 情報システ	· 技業科日寺の做安 ・ ・ ・ ・ ・											
	- :	分類	į			配	授		授	受業プ		場	所	教	員	☆
	必修	択	自由選択	授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	だ 業 時 数	単位数		演習	実験・実習・実技			専任		企業等との連携
1	0			プログラミング(プログ ラミング基礎)	オブジェクト指向言語の代表格であるJava言語の基本的な文法、アルゴリズムなど基礎を 学習	1 • 前	120	8	0			0		0		
2	0			プログラミング(プログ ラミング応用)	オープンソースフレームワークを用いた高品 位Webアプリケーショの構築方法を学びま す。Webプログラミング(JSP・サーブレット)ま でを学習します。	'	90	6	0			0		0		
3	0			Webシステム (Web基礎 I)	Webページ制作技術を学習します。HTML、 CSSを中心に学びます。	1 • 前	45	3	0			0			0	
4	0			Webシステム (Web基礎 Ⅱ)	Web ページ制作技術を学習します。 JavaScriptを中心に学びます。	1 • 前	45	3	0			0			0	
5	0			Webシステム (Webプロ グラミング)	プログラミング言語PHPの基本的な書き方、 データベースとの接続方法及び操作、表示 方法を学びます。	1 · 後	60	4	0			0			0	
6	0			Webシステム(Webフロントエンドフレームワーク)	REACT等、開発に便利なフレームワークを学 びます。	2 · 後	45	3	0			0		0		
7	0			サーバ構築(データ ベース基礎)	データベースの機能、データの正規化、リレーショナルデータベース操作言語SQLをオープンソースの「MySQL」を利用した実習を通じて学びます。	'	45	3	0			0			0	
8	0				TCP/IPを中心としたネットワークの基礎知識 を学びます。	1 • 前	45	3	0			0			0	
9	0			サーバ構築(サーバー 基礎)	サーバOSとして広く利用されている「Linux」 の基本操作、サーバ構築・管理方法を学び ます。		60	4	0			0			0	
10	0			システム開発(システ ム開発設計)	システム開発における基本計画、外部設計、 内部設計、プログラム設計、テスト仕様設計 の各工程の学習をします。	1 · 後	45	3	0			0		0		
11	0	0			1次では前までに学んできた知識をベースにWebシステムの開発のために必要な知識を上級生からのグループ学習で学びます。2次では、1生に対して学んだ知識をしっかり伝え理解させることを目的とします。業界就職後のインストラクション能力の向上が目的です。 ※1次および2次に実施しており、1次は必修とし、2次後については企業インターンシップが実施される可能性もあるため、選択科目と	1 . 後	240	8		0		0		0	0	
12	0			システム開発(チーム 制作)	しています。 システム開発に必要な様々な知識を活用して、企業や団体の協力を得ながらチーム単位でシステム開発を行い成果物の完成を目指します。	前	180	6		0		0		0	0	0
13	0			リテラシー(コンピュー タリテラシー)	基本情報技術者試験A科目試験のテクノロ ジ・ストラテジ・アルゴリズム、情報セキュリ ティを学ぶ		165	11	0			0		0		
14	0			資格対策(PG資格対 策)	オラクルの Java SE Bronze試験の対策授業 です。	1 • 前	30	2	0			0		0		

				国家試験「基本情報技術者試験」の合格を 目指した講義・演習をします。	:										
15	0	0	資格対策(基本情報対 策)	※2次前と後に期間を区切り実施しており、 前は必修とし、後については企業インターン シップが実施される可能性もあるため、選択 科目としています。	/	195	6	0	Δ		0		0		
16	0		ビジネス関連技法(プ レゼンテーション)	プレゼンテーションソフトウェア「PowerPoint」の操作および、必要な情報をわかりやすく材手に伝える為の様々な手法と、企画・準備から発表までの一連の流れを学習。	il !	30	2	0			0		0		
17	0	0	ビジネス関連技法(学 科総合学習)	学内・学科イベントの説明や準備、連絡事項の伝達、ビジネススキルなど学科の通常授業外に関わること全般を学習します。 ※1次および2次に実施しており、1次および次前は必修とし、2次後については企業インターンシップが実施される可能性もあるため、選択科目としています。	1 2 ·	120	4		0		0		0		
18	0		ビジネス関連技法 (キャリアデザイン)	履歴書や自己PRの作成、企業へのエントリー方法、ビジネスマナー講座など就職活動準備に向けた講義。		30	2	0			0		0		
19		0	Web エンジニア 技 法 (Web バックエンドフ レームワーク)	Laravelなどバックエンドフレームワークの活用方法の学習をする	2 · 前	45	3	0			0		0	0	
20		0	Web エンジニア 技 法 (Web技術研究)	Web技術の最新動向を研究します	2 • 前	45	3	0			0		0	0	
21		0	サーバー・DBエンジニア技法(サーバー応用)	Linuxでのサーバー環境の設定方法を学習 する	2 · 前	45	3	0			0		0	0	
22		0	サーバー・DBエンジニ ア技法(クラウドサー バー)	AWSなどクラウド環境のサーバー活用方法を学習する	2 · 前	45	3	0			0		0	0	
23		0	ネットワークエンジニア 技法(ネットワーク実 践)	CCNAの学習を通じてネットワーク技術の実践を学ぶ	2 · 前	90	6	0			0		0	0	
24		0	システム開発(卒業研 究)	最新技術などの中からテーマを選択し、卒業後のITエンジニアとしての探求の足掛かりをします。コンテストへの応募、ハッカソンへの参加も目指します。		150	4		0		0		0		
25		0	社会実習 (社会実習)	企業研修やインターンシップなどを行いま す。	2 · 後	450	10		0	2, 460		0			

	卒業要件及び履修方法	授業期間等	Ē
卒業要件:	修業年限以上在学し、教育指導計画に従って授業科目を履修し、その成果が満足 できると認められるとき。1課程800時間以上、2課程1,700時間以上、3年課程2, 400時間以上の授業時間数を修得し、当該課程を修了したとき。	1 学年の学期区分	2 期
履修方法:	対面及び遠隔授業等により、学則別表に定められる当該学年に認定された授業科 目の全てを履修しなければならない。	1 学期の授業期間	15 週

(留意事項)

- 1 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。
- 2 企業等との連携については、実施要項の3(3)の要件に該当する授業科目について〇を付すこと。